

## 第3章. 施設整備

### 第1節. 新国立競技場整備の基本的考え方

新国立競技場は、明治神宮外苑の歴史と伝統ある環境の中で、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会（以下「オリンピック・パラリンピック競技大会」という。）のメインスタジアムとして建設される。

すべてのアスリートが最高の力を発揮し、世界中に感動を与え、東京大会を成功に導く場となり、そのよい遺産として、後世の人々に長く愛され活用される施設となることが望まれる。

そのため、

- 人にやさしく、誰もが安心して集い、競技を楽しむことのできるスタジアム

- ・世界最高のユニバーサルデザインを導入した施設を目指す。
  - ・競技者と観客とが一体感のある空間を作り出し、競技者の最高の力を引き出す。

- 周辺環境と調和し、最先端の技術を結集し、我が国の気候・風土・伝統を現代的に表現するスタジアム

- ・豊かな緑とともに、スポーツクラスターの中心を作り出す。
  - ・日本の伝統的文化を現代の技術によって新しい形として表現する。

- 地域の防災に役立ち、地球全体の環境保存に貢献するスタジアム

- ・災害時の避難及び救援、地球全体の環境負荷の軽減に貢献する。

を施設整備のコンセプトとして、できる限りコストを抑制し、大会開会式に間に合うように確実に完成させる。

## 第2節. 主な設計条件

### 1. 施設構成と導入機能及び規模

本施設は、次の機能により構成され、各機能の基本的な考え方及び面積は、表2による。各機能において必要となる主な諸室の面積及び要求水準は、【添付資料11】「各室性能表」による。

なお、面積にはフィールド面積を含む。

表2 新国立競技場の施設構成（導入機能と規模）

新国立競技場		
導入機能	各機能の基本的な考え方	面積
① 競技等機能	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会のメインスタジアムとして必要な機能を整備する。</p> <p>具体的には、オリンピック・パラリンピック競技大会の陸上競技、サッカーの開催が可能な水準の競技等機能、開閉会式開催に必要な機能を整備する。</p> <p>常緑の天然芝の育成に必要な条件（太陽光、風、水、温度等）を考慮し、必要な機能を整備する。</p> <p>競技者が良好な状態で競技できる環境を整備する。</p>	約 24,000 m <sup>2</sup>
② 競技等関連機能	<p>アスリート・ファーストの理念の下、誰もが競技に専念できる、安全で快適な競技者関連機能を整備する。</p> <p>安全でスムーズな大会運営が可能となる大会運営関連機能を整備する。</p> <p>オリンピック・パラリンピック競技大会の実施に求められる規定を踏まえ、競技者及び運営関係者に必要な機能を整備する。</p> <p>プライバシーや快適性に配慮したドーピングコントロール機能を整備する。</p>	約 5,900 m <sup>2</sup>
③ 観覧機能	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会が実現できる約6.8万席以上の観客席を整備する。</p> <p>将来の大規模国際大会の開催を目指し、観客席増設により、約8万席以上確保可能な計画とする。その際、サッカー、ラグビーの競技者と観客に一体感が生まれ、臨場感あふれるピッチに近い観客席を計画する。</p>	約 85,300 m <sup>2</sup>
④ メディア機能	<p>世界中から訪れる各種メディアがスムーズに活動でき、世界に向けて円滑に発信可能な機能を有するメディア機能を整備する。</p>	約 3,100 m <sup>2</sup>
⑤ ホスピタリティ機能	<p>オリンピック・パラリンピック競技大会に訪れるVVIP、VIP等に対して、快適で安全が確保されたホスピタリティ機能を整備する。</p>	約 16,200 m <sup>2</sup>

⑥防災警備機能	<p>観客、競技者、運営関係者等本施設利用者の安全が確保される機能を整備する。</p> <p>地域の防災性向上の観点から、東京都帰宅困難者対策条例、新宿区地域防災計画等を踏まえ、防災機能を整備する。</p>	約 1,200 m <sup>2</sup>
⑦維持管理機能	<p>スタジアムを維持するための効率的で経済的な維持管理機能を整備する。</p>	約 32,700 m <sup>2</sup>
⑧駐車場等機能	<p>東京都駐車場条例に基づく駐車台数を確保する。(300台程度を想定。)</p> <p>オリンピック・パラリンピック競技大会開閉会式の準備、運営に必要な運搬車両や、競技者、メディア、緊急車両などの出入口、車路、駐車スペースを整備する。</p> <p>安全に配慮したVVIP、VIP専用の出入口、車路、駐車スペースを整備する。</p>	約 26,000 m <sup>2</sup>
合計		約 194,400 m <sup>2</sup>

#### 面積の許容範囲

新国立競技場の各室面積は【添付資料 11】「各室性能表」に掲げる「面積」に示す所定の面積に対し、±5%以内とする。ただし、設計において、要求水準（面積を除く。）を満たした上で、合理的な理由に基づく提案を行い、JSCと計画案の協議が整った場合は、これを変更することができる。